

# Press Release

## ビデオ・スクリーニング 1 レイモンド・ペティボン

### CCAギャラリー

2017年5月15日(月)―6月23日(金)  
月曜日―金曜日 午前10時―午後5時 土日休

現代美術センター CCA 北九州では、2017年5月15日から6月23日まで、CCAのビデオ・アーカイブに収蔵されているビデオ作品を上映する「ビデオ・スクリーニング」を開催します。2017年度第1回目は、ニューヨークを拠点に活動するアーティスト、レイモンド・ペティボンの作品を上映します。

レイモンド・ペティボン(1957年生)は、手書きのテキストを組み合わせた、一見漫画のようにも見える独特のドローイングの作品で知られています。描かれているのは、アメリカの史実や漫画、テレビ、文学作品からの引用や聖書など、幅広い題材を取り扱っています。

ロサンゼルスでアートを学び、70年代頃よりアメリカ、西海岸を拠点にチラシやポスター、ステッカーまたレコードのジャケットなどのアートワークを制作し始め、同人誌などにもドローイングを発表していきます。当初は兄が活動していたバンド、Black Flagなどのレコードのジャケット・デザインも手がけ、次第に西海岸の音楽シーンで知られるようになり、当時のサブカルチャーの中心的存在だった数々のミュージシャンと親交を深めていきます。その後アートの世界でも脚光を浴びるようになりました。

すでにアーティストとして知られるようになっていた1989年に、ペティボンは4本のビデオ作品を制作します。どの作品も60年代～70年代の西海岸のサブカルチャーを象徴すると言われる、実在した過激な人物やグループを取り上げています。ほぼ無表情で過激なセリフを口にする登場人物を演じるのは、ミュージシャンなどを含むペティボンの友人たちです。主に1つのリビングルームで意図的にラフに撮影、編集された画面には、私たちが共有した1つの時代、文化を俯瞰的に捉える視点に加え、それに対するペティボン自身の非常に懐疑的な態度が見てとれます。同時に、過去の人物が描かれていながらも、シンプルで凝った演出も技術も使われていない映像、登場人物のファッションや行動は、ビデオが制作された80年代後半の音楽シーンにも共通する独特の空気をとらえています。

上映作品

The Whole World is Watching - Weatherman '69  
1989, 122 min, color, sound

現代美術センター CCA 北九州  
〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2-5 学術研究都市  
TEL 093 695 3691 Eメール mail@cca-kitakyushu.org www.cca-kitakyushu.org

